

ダムは、大雨のとき、放流する水量をコントロールし、ダム下流河川の急激な水位上昇をおさえています。

令和5年8月の台風では、鳥取市の佐治川ダムで、限界を上回る雨量によりダムが満水となり、上流からの水を貯めることができなくなったため、緊急放流※を行いました。

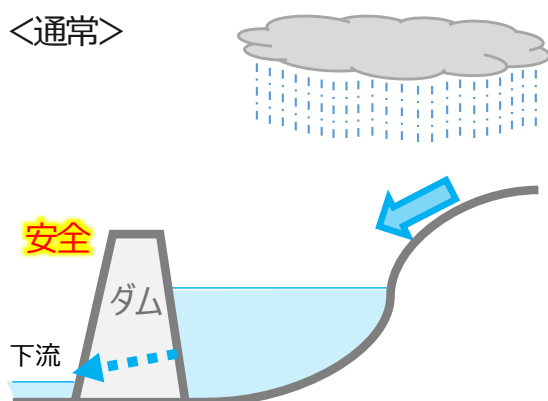
近年、気候変動による洪水リスクが高まっていると言われており、**ダムがあるから安心と思わず、早めに避難し命を守る行動をとってください。**

※緊急放流は下の図を参照してください。

ダムの限界

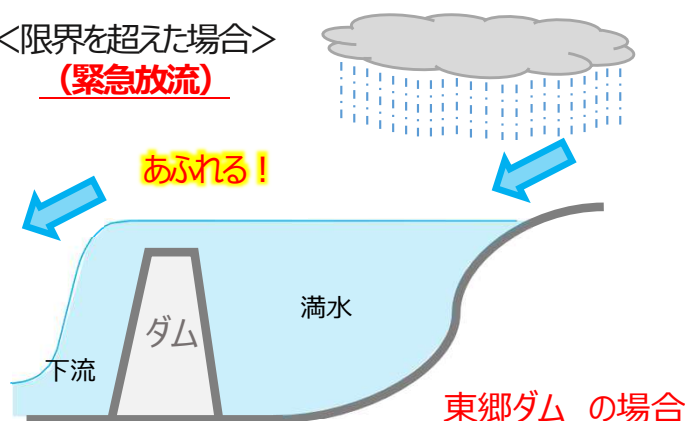
大雨のときは、上流から流れてくる水の一部をダムにためることができるため、下流は安全です。

<通常>



豪雨により貯水能力の限界を超えると、ダムに流れてきた水がそのまま下流へ流れるため、被害が発生する恐れがあります。

<限界を超えた場合>
(緊急放流)



ダム放流への備え

緊急放流の場合、河川の水量が増えて氾濫する恐れがあるため、早めの避難をお願いします。



ダム下流にお住まいの皆様は、ダムの機能や放流情報の伝達方法等についてご承知ください。



【ダムの情報】

- 県管理の治水ダム
 - ・佐治川ダム
 - ・百谷ダム
 - ・東郷ダム
 - ・朝鍋ダム
 - ・賀祥ダム



【鳥取県防災情報ポータル】

- 河川監視カメラ提供システム
- とっとりゆきみちナビ

ダム放流の予告

異常な豪雨により、ダムへの流入量が多くなり、貯水位が「洪水時最高水位」を超える恐れがある場合、避難に要する時間も考慮した上で、事前にサイレン吹鳴、パトロールカーによる通報を行います。

＜放流情報の伝達方法(試行)＞

①常時満水位(水位95m)

②洪水時最高水位に達する3時間程度前

・流入量が9m³/秒以上 かつ 水位96mを超過

(住民への伝達方法)

サイレン吹鳴、パトロールカー通報

防災行政無線、あんしんトリピーメール

③洪水時最高水位に達する1時間程度前

・放流量が9m³/秒以上 かつ 水位99mを超過

(住民への伝達方法)

防災行政無線、あんしんトリピーメール

＜東郷ダム 貯水位＞

(放流開始水位)

▽洪水時最高水位 標高103.5m

洪水調整用

▽常時満水位 標高95.0m

利水用

▽最低水位 標高88.0m

(土砂堆積用)

基礎岩盤 標高68.0m

※東郷ダムは人為的操作のない自然越流型ダムです。

＜パトロールカーによる通報例＞

～こちらは、鳥取県東郷ダム管理事務所です。ただ今、ダムの水位が上昇しております。川の水が増えて危ないので、川から離れて避難行動をとってください。

＜警報局の位置、パトロールカー経路＞



パトロールカー



警報局 (サイレン)

東郷ダム 管理事務所

警報局

- ▶ : 警報局
- ▲ : ダム
- : パトロールカー経路
- : 情報周知範囲

東郷ダムの水位、貯水量に関する情報はこちら
【鳥取県ダム情報提供システム】
<http://tottoridam.jp/togo/index.php>

携帯サイトはこちら
<http://tottoridam.jp/m/togo/index.php>

